

# 給食だより

令和5年度 2月号 No. 11

## ～鬼っ子ライスのトッピングに挑戦～

2月2日（金）に節分を行いました。この日のメニューは、“鬼っ子ライス”でした。

鬼っ子ライスとは、ご飯で鬼の顔を作ります。顔の土台のチキンライスに、角（ウインナ）・髪の毛（錦糸卵）・目（魚肉ソーセージ）・眉毛（海苔）・鼻（人参）・口（魚肉ソーセージ）を、自分たちで鬼の顔を作ってもらいました。年少児は、初めての試みでしたが、真剣な表情で集中して作り上げる事ができました。角の部分を1本にしたり、2本にしたりと個性豊かな鬼たちが勢揃いしました。



## ～魚の解体ショー～

2月21日（水）に魚の解体ショーを行いました。毎年恒例の鯖井太郎さんがやってきて魚一匹（真鯛）を捌いてもらいました。鯖井太郎さんが、「この魚の名前分かる人？」と聞くと「マグロ！」などいろいろな答えが出てきましたが、その中で「真鯛！」と答える子がいて職員も驚きました。日頃、魚を捌くところを見る機会がない子どもたちにとっては、衝撃だったようで捌いている途中に「かわいそう。」と言っている女の子もいました。

捌いた後は、頭と骨・身になっている魚の観察をしたり、魚の頭や目を触ったりと日頃できない体験ができました。魚の身は、その場で塩焼きにして頂き、頭や骨のアラは、次の日に出汁を取り、日頃の出し汁と味比べをしてもらいました。塩焼きも出し汁も美味しかったようで、「お代わりしたい！」と言う子がたくさんいました。



## 「絵本から飛び出したおやつ」



～あらすじ～

ぐるんぱは、ずっと一人ぼっちで暮らしていました。ジャングルでは、ぐるんぱの会議が開かれぐるんぱを働きに出すことに決まり、ビスケット屋、お皿屋、靴屋…と働きますが、張り切り過ぎて大きな物ばかり作ってしまいどこも追い出されてしまいます。

この日は、年に一度のおやつ「手作りビスケット」でした。年長児になると絵本を見ただけで、「今日のおやつは、大きいビスケットの日やろ！？」とウキウキする子どもたちの姿がありました。また、虹組のクラスでは、絵本を読む前に担任が「絵本の中に、ビスケットが出てくるからよく見ていてね！」と子どもたちに伝える事で集中して見る事ができ、ビスケットの絵が出てくると「ビスケットだ～！」と喜んでいました。つぼみ組でも「そーさんだ！」とぞうにインパクトがあったようでしたが、おやつの時間になりビスケットを見ると、「そーさん持ってたね。」と絵本の中の絵をよく覚えていました。

そして、絵本の内容と同じように大きなビスケットを作って子どもたちの前に持っていくと「うわあ～！大きい！」や「早く食べたい。」などテンションが上がる子どもたちでした。また、子どもたちに「大きいビスケットと小さいビスケットどっちを食べたい？」と聞くと声をそろえ、「大きいビスケット！」と答えていました。

この大きなビスケットは1枚だけしか作らないため、毎年各クラスの代表として担任が子どもたちの声援を受けジャンケンします。そして、勝った担任のクラスに大きなビスケットがお代わりとなります。今年もありり先生が勝利し4連勝となり、虹組のお代わりなりましたが、お裾分けで年長児にも半分お代わりを頂き、「あいり先生、優しいね！」と呟きながら嬉しそうに食べていました。

